



ひとりやないきね

—— 本人と家族からのメッセージ ——



認知症は、誰也能なる可能性があります

特別なことではなく、

私たちの人生の一部です

認知症になっても希望をもって

自分らしく生きられる高知市を目指しています

高知市には当事者、家族をサポートする様々な場所、ツールがあります。裏面をご覧ください

高知市には本人、家族をサポートする 様々な場所、ツールがあります



高知市の認知症マーク

本人と家族と一緒に考え、わすれな草と「共に歩む」をイメージして高知市の認知症支援のシンボルマークにしました。

高知市では認知症啓発動画も制作しています 「私たちの物語」～ひとりやないきね～

これまでの認知症に対するネガティブなイメージから、認知症になっても自分らしく生きることができる新しい認知症観について学ぶための動画を認知症の本人と一緒に制作しました。高知市の公式YouTubeで公開しています。



▼サポートツール・相談先の一例

地域包括支援センター

高齢者やその家族が地域で安心して暮らすための、地域の身近な総合相談窓口です。介護・福祉・権利擁護支援など幅広い相談ができます。

地域包括
支援センター



希望をかなえる ヘルプカード

事前に自分が希望することやお願いしたいこと、連絡先などを書いておき、外出時に周りの人に見せて支援を受けやすくするためのカードです。ご希望の方は各地域包括支援センターへ問い合わせください。



認知症カフェ

目印はこの「のぼり」!▶

地域の誰もがリラックスして認知症について語り合える場です。開催日時が変更される場合がありますので、各地域包括支援センターに問い合わせください。



認知症 SOS協力機関

目印はこのステッカー!▶

認知症の本人が外出した際、自宅へ戻れなくなった場合に、警察や関係機関等と協力して早期に発見・保護するための協力機関です。



高知市認知症ケアパス

認知症ケアパスは、診断後の空白期間をなくし、認知症の本人や家族が必要な支援を受けられるようにする「道しるべ」です。本人や家族にとって希望につながる冊子となるよう制作しました。ご希望の方は各地域包括支援センターへお問い合わせください。

PDFは
こちらから



ここで紹介している情報以外にもたくさんあります。

詳しくは下記、高知市基幹型地域包括支援センターへお問い合わせください